

第三期競馬活性化計画に基づく評価報告(要旨)について 地全協 R3年12月 リー

1はじめに

地方競馬主催者は、競馬法に基づき「競馬連携計画 H17～19 年度」「第一期競馬活性化計画 H20～24 年度」「第二期競馬活性化計画 H25～29 年度」を策定し地全協の畜産振興勘定資金活用と JRA からの支援を受けインターネット発売、競馬開催日程の適正化で一定の成果を挙げた。「第三期競馬活性化計画 H30～R4 年度」では「お客様の利便性向上」「地方競馬の魅力向上」に向けた「強い馬づくり」を進めている。第三期競馬活性化計画の目標である事業収支改善の進捗状況を確認する。

2 各取組の実施状況、成果、課題と今後の取組の方向性

2.1 競馬の魅力向上(強い馬づくり)に向けた取り組み

「DG 競走で中央場に伍して戦う地方馬を多数輩出する」ことを当面の目標とする。

2.1.2 賞典奨励費の増額・適正化 (表2)

賞金・諸手当の増額は、強い馬づくりのための在厩馬と厩舎関係者の確保に直結する事から、今後も経営とのバランスを保ちつつ、着実に増額・適正化に取り組む必要がある。

2.1.4 厩舎関係施設の整備 (表7)

2.1.5 調教施設の整備と利用促進 (表8)

2.1.6 厩舎関係者の確保対策

賞典奨励費の増額、社会保険制度の整備の支援、厩舎・厩務員宿舎の整備を通じた厩務員の処遇改善をすすめ求人広報強化必要。

2.1.7 レース体系の整備及び地方有力馬の出走拡大 (イメージ図)

2.2 競馬の魅力の伝達の為の取組

2.2.4 魅力ある施設・設備の整備

2.3.1 レース開催時間の拡大と発走時刻の調整 (表13)

ナイター延べ開催日数が増加したものの、冬季は昼間開催日程が多くナイター拡大が飽和状態に近づいている。関係者間で競合を回避する発走時刻の調整が必要。

2.3.2 同時開催場の適正化

JRA ネット投票の発売場数の適正化必要。

3 地方競馬における経営の健全化の進捗状況

3.1 売上げの状況

在宅投票の発売委託手数料のあり方について事業者と更なる協議を進める必要がある。(表 A)

3.2 収支改善の状況 (表18)

3.3 将来の施設整備等に備えた施設改善基金の造成

令和4年度末には約7割が耐用年数を超過する状況となっている。令和5年度以降も施設整備取り組み必要。

\* (表 19) 令和5年度以降の各地方競馬主催者における施設等・整備必要額 総計 102.829 百万円

3.4 地方公共団体への収益金の分配状況

令和2年度7主催者分配、いまだ半数の主催者が分配できていない。(表 20) 北海道・帯広・岩手・石川・岐阜・愛知

4 課題と今後の取組(まとめ)

・「売得金を対前年度比3.6%以上向上」「平成28年度事業収支状況を基に、令和4年度年度収益額を35%以上増加する」2つの指標は達成可能。収益金を令和4年度までに分配を行う必要がある。

・「強い馬づくり」については賞典奨励費増額に取り組んでいるが中央競馬に比肩する施策は道半ばである。

・地方競馬を継続するには、公正確保の徹底。ギャンブル依存症対策、安心して競馬を楽しんでいただける環境を構築した上で、売上向上と収益確保により経営基盤確立し畜産振興や地方財政へ寄与すべく各主催者と地全協でしっかり連携していく。

表 2 賞典奨励費の推移

(百万円)

年度	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2
賞金	14,614	14,741	15,183	16,857	18,784	21,002	21,761	23,574 (108%)
諸手当	12,803	13,033	13,774	14,343	15,954	17,006	19,858	21,730 (109%)
賞典奨励費計	27,417	27,774	28,958	31,200	34,737	38,008	41,619	45,304 (109%)

※ ( ) は対前年度比

表 7 各地方競馬主催者における厩舎施設等の整備状況と必要額

主催者	厩舎整備 開始年度 (予定含む)	厩舎施設の整備状況 ※( 数字 )は必要額(単位:百万円)		
		平成 30 年度 ～令和 2 年度(2,023)	令和 3 年度～4 年度 (7,703)	令和 5 年度～9 年度 (64,235)
北海道	令和 4 年度			R5 厩舎(2,237) R5,6 厩舎関係者住宅(1,365)
帯広	平成 30 年度	H30 厩舎(163) R1 厩舎(163) R2 厩舎(181) 厩務員住宅(66)	R3 厩舎(400) 厩務員住宅(70)	R5～7 厩務員住宅(210) R5～9 厩舎整備(2,000)
岩手	令和 3 年度	R2 水沢厩舎(12)	R3 水沢厩舎(242) 盛岡競馬場厩舎(4) R4 水沢厩舎(949) 盛岡競馬場厩舎(197)	R5 以降 水沢厩舎(3,042)
浦和	令和 4 年度			R5～7 厩舎整備(2,152)
千葉	令和 6 年度		R3 厩舎地区下水道(275) R4 厩舎地区下水道(275)	R6～9 厩舎(6,600)
特別区	令和 5 年度 以降	(H30 モデル厩舎整備 (227))		R5～9 小林分場厩舎(9,130) R5 以降 大井本厩舎(4,620)
川崎	令和 5 年度 以降			R5 以降 厩舎(9,400) 厩舎関係者住宅(4,600)
石川	令和 3 年度		R3 厩舎(200) 厩舎管理棟(64) R4 厩舎(400)	R5～9 厩舎(2,000)
岐阜	令和 5 年度			R5～9 厩舎整備(1,005)
愛知	令和 4 年度	R2 厩舎関係者住宅 (1,188)	R3 厩舎関係者住宅(1,276) R4 厩舎(400)	R5～9 厩舎整備(7,600)
兵庫	令和 4 年度		R3 西脇騎手住宅(342) R4 西脇厩舎(40) 西脇厩務員住宅(400) 西脇調教師住宅(180)	R5 園田輸送馬房・騎手住宅(150) R5,6 西脇厩務員住宅(740) 西脇調教師住宅(680) R5～9 園田厩舎(1,100) R5～ 西脇厩舎(600) R 6 姫路厩舎 (400)
高知	令和 5 年度	H30 厩舎等(堆肥処理施設)(132) R1 厩舎等(防音壁) (43) R2 厩舎等(ドライミスト)(75)		R5～9 厩舎(1,210) R3～9 のうち単年度 厩務員住宅 (446)
佐賀	令和 4 年度		R3 厩舎(16) R4 厩舎(395) 厩務員住宅(1,578)	R5～9 厩舎(2,040) R6,7 騎手住宅(702) 厩務員住宅(306)

※上記の額は現時点で計画されている主な施設・設備の改修・整備費用であり、今後、変更される可能性がある。

【イメージ図】

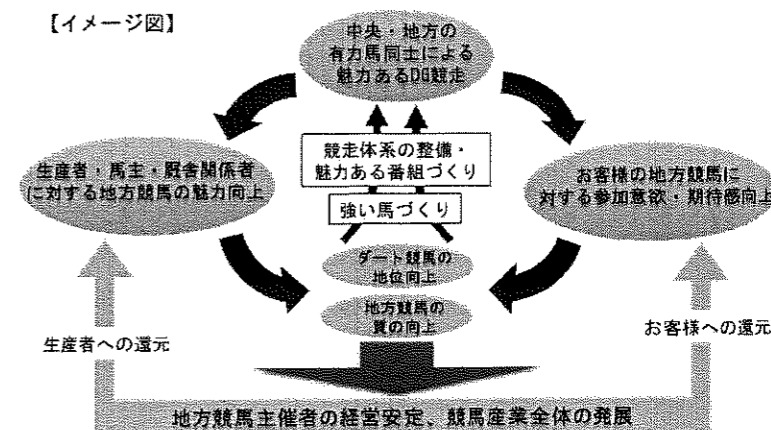


表8 調教施設の整備状況と必要額

主催者	調教施設の整備状況 ※(数字)は必要額(単位:百万円)		
	平成30年度～令和2年度 (4,865)	令和3年度～4年度 (4,258)	令和5年度～9年度 (5,304)
北海道	R1 ウッドチップコース(77) R2 外走路(235)	R3 調教用坂路ウッドチップ交換 (25)	R7 外走路(250) R8 以降 内走路(60) R8 以降 研修用乗馬施設(40)
帯広	R2 練習走路(41)		
岩手	R1 水沢競馬場走路(52)	R3 盛岡競馬場走路(147) R4 盛岡競馬場屋内馬場(100)	
浦和	R1 野田トレセン(フェンス)(64) R2 野田トレセン(フェンス、埒、 走路)(375)	R3,4 野田トレセン(フェンス)(171)	R5,8 浦和競馬場走路(201)
千葉	R1 調教走路、外走路(366)	R3 外走路(76) R4 外走路、埒(450)	R5~9 内走路(120) R5~9 外走路(300) R6,R9 角馬場(馴致走路)(600)
特別区	H30,R1 本馬場、練習馬場(340) R1 トレッドミル(34) R2 馬場(19)	R3 本馬場、練習馬場(57) R3,4 小林牧場再構築(2,039)	
川崎	R1,2 練習馬場(609)		
石川	H30 馬場、調教走路(77) R1 馬場、ロング場(59) R2 馬場、角馬場(172)	R3 馬場(36) R4 馬場、調教走路(96)	R5~9 馬場(180)
岐阜	R2 走路(190)		
愛知	H30 調教(内馬場)(118) R2 走路(外馬場、延長)(1,125)		
兵庫	R1 姫路馬場(326) R2 園田本馬場(519)	R3 園田内馬場(461) R4 園田ハッキング馬場(400)	R5,6 馬場側溝整備(550) R5,6 西脇馬事公苑ウォーキング マシン(144) R5~ 西脇馬事公苑馬場(1,700)
高知	R1 丸馬場(18)	R3 トレッドミル(100) R4 トレッドミル(100)	R5~9 走路(888)
佐賀	R1 本走路、練習走路(49)		R5,R8 本走路(201) R6 練習走路(70)

※上記の額は現時点で計画されている主な施設・設備の改修・整備費用であり、今後、変更される可能性がある。

表13 地方競馬主催者のナイター競馬開催状況

競馬場名	昭和 61年度	平成 20年度	平成 24年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	備考
門別競馬場	—	—	80日	80日	73日	80日	82日	平成21年5月、ナイター開催開始
帯広競馬場	—	48日	78日	109日	112日	111日	120日	平成19年6月、ナイター開催開始
旭川競馬場	—	59日	—	—	—	—	—	平成20年度で競馬開催終了
船橋競馬場	—	—	—	42日	56日	57日	49日	平成27年6月、ナイター開催開始
大井競馬場	25日	82日	85日	74日	74日	73日	76日	昭和61年7月、ナイター開催開始
川崎競馬場	—	45日	49日	49日	49日	50日	49日	平成7年5月、ナイター開催開始
園田競馬場	—	—	10日	26日	25日	28日	25日	平成24年9月、ナイター開催開始
高知競馬場	—	—	93日	106日	107日	107日	107日	平成21年7月、ナイター開催開始
佐賀競馬場	—	—	—	—	—	—	31日	令和2年10月、ナイター開催開始
開催日計	25日	234日	395日	486日	496日	506日	539日	

委託料率表

2022.9本会調査 (表A)

区分	料率	2019年比	備考
オッズ・パーク インターネット	10%	-0.9%	
ARS	9%	±0%	以前+2.5%(共同利用権)現在無し
楽天競馬	10%	±0%	
I-PAT	約8.27%	約-1.63%	+1.0%(地全協)
SPAT-4	13%	±0%	(内税)※土日16.5%

表18 地方競馬における収益額の推移

(単位:百万円)

年度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
競馬事業収入(a)	519,525	588,955	640,295	740,343	951,973
競馬事業基金繰入(b)	1,705	3,287	4,980	6,449	9,961
収入計(c=a+b)	521,231	592,340	645,540	746,795	961,933
競馬事業支出(d)	501,851	568,900	620,919	716,342	908,388
競馬事業基金積立(e)	11,421	15,053	19,554	17,389	25,029
支出計(f=d+e)	513,272	583,953	640,473	733,732	933,417
収益額(c-f) (改善度(%))	7,959 (-)	8,390 (+5.4)	5,067 (▲36.3)	13,063 (+64.1)	28,516 (+258.3)

※改善度は、対平成28年度比

表19 令和5年度以降の各地方競馬主催者における施設等の改修・整備必要額

主催者名	令和5年度以降必要試算額	主催者名	令和5年度以降必要試算額
北海道	5,530百万円	石川	3,076百万円
帯広	5,225百万円	岐阜	3,762百万円
岩手	4,292百万円	愛知	11,488百万円
浦和	6,579百万円	兵庫	8,207百万円
千葉	12,356百万円	高知	4,494百万円
特別区	13,750百万円	佐賀	5,560百万円
川崎	18,510百万円	必要額計	102,829百万円

注)上記の額は現時点で計画されている主な施設・設備の改修・整備費用であり、今後、変更される可能性がある。

表20 構成団体へ収益金を分配した主催者数と分配金合計額の推移

年度	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
主催者数	2	2	3	5	4	6	6	7
分配金合計(百万円)	625	990	1,220	1,875	2,030	3,359	5,632	13,630

(5) 構成団体への繰出金等の状況(平成元年度以降)及び推移

主催者	平成元年度～平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	累計 (平成元～令和2年度)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
北海道	1,317	—	—	—	—	1,317
帯広市	2,724	—	—	—	—	2,724
岩手県競馬組合	10,450	—	—	—	—	10,450
埼玉県浦和競馬組合	4,406	390	420	1,300	620	7,136
千葉県競馬組合	3,330	130	130	260	520	4,370
特別区競馬組合	53,844	1,150	2,300	3,450	4,600	65,344
神奈川県川崎競馬組合	8,744	360	450	540	6,030	16,124
石川県	14,442	—	—	—	—	14,442
金沢市	2,860	—	—	—	—	2,860
岐阜県地方競馬組合	500	—	—	—	—	500
愛知県競馬組合	829	—	—	—	—	829
兵庫県競馬組合	41,785	—	—	—	1,700	43,485
高知県競馬組合	—	—	43	32	60	135
佐賀県競馬組合	6,230	—	16	50	100	6,396
廃止主催者	14,424	—	—	—	—	14,424
合計	165,885	2,030	3,359	5,632	13,630	190,536

(注1)平成18年度までのばんえい競馬の主催は北海道市営競馬組合。平成19年度から帯広市の単独主催。  
(注2)廃止主催者は、平成元年度以降に競馬事業を廃止した中津競馬組合、宇都宮市、新潟県競馬組合、益田市、足利市、上山市、群馬県競馬組合、栃木県、荒尾競馬組合及び福山市の計10主催者の総計(北海道市営競馬組合を除く)。  
(注3)本表は農林水産省生産局畜産部競馬監督課作成による。